平成25年８月14日

各　位

三重県四日市市日永二丁目３番３号
アップルインターナショナル株式会社
代表取締役会長兼社長　久保　和喜
（コード番号：２７８８　東証マザーズ）
問合せ先　取締役管理本部長　近藤　則明
ＴＥＬ（059）347-3515

平成 25 年 12 月期第２四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異並びに営業外収益・営業外費用に関するお知らせ

平成 25 年２月 19 日に公表しました平成 25 年 12 月期第２四半期連結累計業績予想と本日公表の実績値について、差異が生じましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

１．連結業績予想との差異

平成 25 年 12 月期第２四半期連結累計期間の業績予想数値との差異（平成 25 年１月１日～平成 25 年６月 30 日）業績予想数値の修正

【 連結 】

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	14,617	351	206	50	401.24
今回実績値（B）	15,288	346	82	117	941.98
増減額（B－A）	671	△4	△123	67	―
増減率（%）	4.6	1.4	△60.0	134.8	―
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 23 年 12 月期第２四半期）	13,992	△111	△125	△63	△507.83

２．差異の理由

売上高ならびに営業利益については、中国子会社の主力商品であるメルセデスベンツの販売台数が堅調に推移したことにより、ほぼ予想通りとなりました。

経常利益については、持分法適用関連会社における業績悪化を受け、当社の持分に応じた損失額 88 百万円を営業外費用に計上したことから、当初予想を下回る結果となりました。

四半期純利益については、当社が保有する投資有価証券を市場で売却し 128 百万円を特別利益に計上したことから当初予想を上回る結果となりました。

その結果、前回発表予想と実績値に差異が生じました。

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年２月19日に公表致しました業績予想からの変更はありません。

３．営業外収益および営業外費用の計上について

為替相場の変動により、当第２四半期連結累計期間において為替差益61百万円を営業外収益に計上しております。

なお、上記金額は当社グループが保有する外貨建て債権債務の期末換算レートによる評価替えで発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。また持分法適用関連会社における業績悪化を受け、当社の持分に応じた損失額88百万円を営業外費用に計上しております。

以上